



令和6年度 第6回共同機構研修会

子どもの心を豊かにする絵本の世界 ～やってみよう！読み聞かせ～

講師 賀集 弥須子さん、北島 愛喜さん（こどもみらい館子育て図書館司書）

こどもみらい館子育て図書館司書のお二人より

「絵本の魅力」や「お話会での読み聞かせの際の留意点」等をお話していただき、

その後 グループでの読み聞かせ実践と交流会 を実施しました



『絵本の魅力』

- ① 実体験では味わえない世界を体験できる
- ② 豊かな感情を育む
- ③ 読み手の愛情が伝わる
- ④ 仲間とのつながり



『やってみよう！読み聞かせ』

- ・本の選び方（お話会に向く絵本の条件）
- ・子どもたちの前での読み方について
 - * 複数人に向けてのお話会
 - * お話が理解できる（3歳以上目安）年齢の子ども対象



選書のコツ

絵本紹介

<受講者のアンケートより>

グループ討議で、他園の話がたくさん聞けて、とても学びになった。具体的なアドバイスももらえて、明日からの保育に活かしていきたいと思った。

他園の保育士の方にも、話が聞けたことで、絵本をどのように生かしているのかが、よくわかった。また、安心できる面もあり良かったです。テーマが絵本で、常に接しているものだったので、思いや悩みが話しやすかったです。

絵本の読み方やポイントなどを学んだうえで、グループで読み聞かせに移ることができ、1年目の先生や苦手意識を持たれている先生も、スムーズに実践することができたのかな、と思いました。

他の先生の読み聞かせを見る機会は貴重で、普段読んでいる絵本も、子ども目線で見ると、新しい発見がありました。園でも共有して、絵本をゆったり楽しむ時間を大切にしていきます。

毎日読んでいる絵本ですが、子どもたちへの伝え方等、改めて学べました。

●令和6年度 第6期研究プロジェクト

市内全域の教職員を対象として取り組んできた第5期研究プロジェクトでの成果を受けて、第6期研究プロジェクトでは、より身近な小学校区をフィールドとしてそれぞれの地域の特色に合わせた取り組み方で研究を進めています。

令和6年度も、「子どもを真ん中に 大人同士がスクラムを!」を合言葉に、祥豊小学校区、柊野小学校区をフィールドとして保・幼・小の関係者の皆様と取組を進めています。

●京都市立祥豊小学校

研修会

※8月21日 夏季休業の終わりに、京都市教育委員会 架け橋コーディネーター

ー 國重初美先生をお招きして祥豊小学校で校内研修会を行いました。國重先生は事前に祥豊小学校を訪問し、祥豊小学校の実態を踏まえて、「幼保小の架け橋プログラム」について御講演くださいました。小学校の全員が受講し、文部科学省「遊びは学び 学びは遊び “やってみたいが学びの芽” ～『やってみたい』から始まる学びの芽（知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力）の育成～（youtube.com）」の視聴や意見交流を通して、学びました。



國重先生

講演・研修は、5つの項目を通して行われました。

- ①祥豊小学校ってどんな学校？
- ②幼保小の架け橋プログラムについて（その背景）
- ③幼保小の架け橋プログラムが目指すもの
- ④スタートカリキュラムについて
- ⑤京都市における幼保小の架け橋プログラムの方針

近隣の小学校からも1名御参加され、他校へもこの取組内容が広がっていけば、と願っています。

ゼロからのスタートじゃない！

子どもたちの“やってみたい”

「これまで」と「これから」

小学校全体で

参加者からは、「今の姿からこれから育てたい姿のイメージを考えることができました」「子どもたちが主体的に学ぶことが重視されている中、子どもたちが自発的に活動をしている幼児教育施設について学ぶことは非常に大切だと思いました」「子どもたちが幼児教育施設でやってきた学びの積み重ねを意識したり、授業展開を工夫したりしていきたいと思います」「これまでは、入学後はなんでも教え、ゼロからのスタートのようになっていましたが、これからは『これまで』と『これから』の子どもたちの姿を考えながら、子どもたちの“やってみたい”気持ちを大切にしていきたいと思いました」「1～6年生全体で『自ら考えて行動できる』子を育てられるような取り組みを考えていきたいです」「小学校に入る前の子どもたちが、どんな環境でどんな学びをしていたのかを知ることで、より子ども理解につながり、また子どもたちの成長をさらに伸ばすことができるのだと思いました」「主体的な子どもたちの“やってみたい”という思いや願いを大切にして、授業をつくっていききたいと思いました」等の感想をいただき、2学期から学びを活かしていきたいという熱い思いを感じました。

この研修を受け、次は、子どもたちの交流へと取組は進んでいます。



京都市立柊野小学校・柊野保育園・旭ヶ丘保育園

研修会



佐川准教授

★7月25日 夏季休業に入って間もなく、京都教育大学幼児教育科准教授 佐川早季子先生をお招きしての柊野小学校の校内研修会。「幼小接続のはじめの一步～幼児期の学びを小学校の学びにつなげるために～」と題した講演は、事前のリモートでの佐川先生、小学校、こどもみらい館の三者での、実態、趣旨、ねらい等についての話し合いを踏まえて頂いたもの。

途中に実践動画・画像、参加者の意見交流をはさみながら、

- ① なぜ、今、幼小接続なのか？
- ② 幼児期の教育と小学校の教育をつなぐ
- ② 子どもたちの声を引き出し、活かす保育・授業へ
- ③ できることからスタートしよう

の4本柱で講演・研修は進み、どんどん熱気を帯びて行きました。

遊びを通して学ぶ

やってみよう！

環境

遊び心

参加者からは「保育園・幼稚園の動画を見せてもらい、遊びを通して学ぶということがわかりました」「子どもたちには自分たちで課題を見つけ、解決しようとする力もあるので、そのための環境を整えなければと思いました」「保幼小にはギャップがあり、その解決には保幼小接続が大切なんだと学んだ」「これまでの研修の中で一番学びになった時間でした。これからやってみようと思える時間でした」「大きなハードルがたくさんありますが、『やってみよう』と思って前向きに頑張る方が楽しそう」「『遊び心』を持ってこれから子どもたちと関わろうと思いました」「まずは一つやってみよう」といった発言や感想で前向きな雰囲気にあふれていました。

今後、連携・接続主任、1年生担任を中心に「推進チーム」を組織し、全校挙げての取組にしていこうと思いを一つにする時間になりました。



保育園訪問・見学

よろしくお願いします

実際に見て大きな学び

★8月21日 「連携・接続推進チーム」のメンバーとこどもみらい館の担当者で、学区内の2つの保育園を訪問。両園とも午前中の保育時間に都合をつけて、一行を迎えてくださいました。実際に子どもたちの遊びや生活の様子、先生の関わりや園の環境などを見学したり、お話を聞かせて頂いたりしました。まずは、「大人同士が顔を合わせる」という、できそうで、できていなかったことを達成。さらに、「子どもたちのために」連携・接続をしていきたいと思いますという思いも共有することができました。

関係者の皆様、ありがとうございました。

次は小学校に来て頂こう



学生のための保育者養成講座

こどもみらい館では、保育所・幼稚園・認定こども園の先生を目指す学生のための講座を開講しています。講座には、

① 個人向け講座（詳細はホームページにて）

- ・子育て支援事業における保育者の関わりや親子の様子から実践的に学ぶ
- ・現職の保育者と共にこどもみらい館共同機構研修を受講して学ぶ

② 大学のクラス、ゼミ、授業単位に向けた講座 があります。

7月には、京都光華女子大学を訪問、また、10月には京都教育大学より来館された学生の皆さんへ、こどもみらい館の役割を伝えたり、エピソード検討会を体験したりしました。



当日の感想

- ・研修を通して、より質の高い保育を目指すために、経験の積み重ねや知識の積み重ねが必要であることを学びました。
- ・とてもいい時間でした。実際に現場に出たときに、臨機応変に対応できそうです。今日の学びを現場でも生かしていきたいです。
- ・グループ討議で他の方の意見も聞けて、いろいろな考え方を知ることができておもしろかったです。こどもみらい館についても知ることができました。
- ・こどもみらい館の子育て支援事業や研修事業など知ることができました。面白そうな内容でやってみたいと感じました。エピソード検討会では、他の人たちの意見も聞けて「なるほど、そういう考えもあるんだ」と知識に蓄えられました。違う立場の意見が聞けて、おもしろかったし、すごく良かったです。
- ・子どもの様子から気持ちを考えて行動することは、今後保育者になったときに大切な視点になると感じました。また機会があれば参加したいです。

素敵な保育者になってね



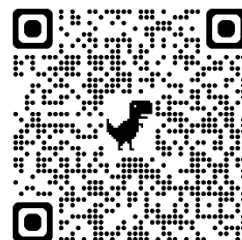
保幼小連携・接続アンケート御協力をお願い（締め切り12月10日）

こどもみらい館では、昨年度に引き続き、研究事業の一環として『保幼小連携・接続のアンケート』を実施します。

すでに、各園（所）へ送付済で、次々と入力されております。

それぞれの園の実態やお考えを把握し、皆様から頂いた御意見を生かしながら研究・研修事業を進めていきたいと考えております。

是非、御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



こちらをクリックして
入力していただけます

ぜひ 御意見をお聞かせください

子どもを育む喜びを感じ、
親も育ち学べる取組を進めます。

[京都はぐくみ憲章]より



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ！



発行日 令和6年10月25日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909
URL : <https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/>